昭和村小中学生対外試合等補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、昭和村に在住する小学生及び中学生の保護者の子育て支援及びスポーツ活動並びに文化芸術活動の振興を図るため、小学生及び中学生が対外試合等に出場する経費の一部及び激励費等を交付することについて、昭和村補助金等に関する規則（昭和56年12月25日規則第8号）に定めるもののほか必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要綱において「対外試合等」とは、関東大会以上のものであって、合唱コンクール、弁論大会等の文化的な大会又は陸上競技、水泳等のスポーツ大会をいう。

2 この要綱において「旅費」とは、対外試合等に参加する小学生及び中学生の交通費、宿泊費、駐車場代、対外試合等への参加費をいう。

(補助対象)

第3条 補助金の交付対象となる対外試合等とは、次の各号に掲げるものとする。

(1) 日本スポーツ協会（加盟団体を含む）が主催する大会及び日本オリンピック委員会並びに日本パラリンピック委員会（加盟団体を含む）が主催する大会で、地区大会等の予選、選抜、推薦等を経て出場権を獲得した関東大会以上の大会とする。

(2) 国、都道府県、都道府県教育委員会が主催若しくは共催又は後援する合唱コンクール、弁論大会等の大会で、地区予選会等を経て出場権を獲得した関東大会以上の大会とする。

2 補助金の交付対象者は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 昭和村に在住する小学生及び中学生で、対外試合等に出場する団体又は個人とする。

(2) 交付対象となる団体に対しては、大会要項等で定められた専属の監督、コーチ等（以下、「監督等」）として登録された者及び昭和村に在住する大会参加者とする。

(3) 交付対象となる個人に対しては、大会要項等で定められた監督等として登録された者又は引率者1名及び昭和村に在住する大会参加者とする。

3 中学校体育連盟等の主催する大会その他学校教育活動の一環として行われる大会等については、この補助金の交付対象としない。

4 本補助金以外に他の公的機関又は団体等より補助金等の助成を受けている場合は、その助成金額は、本補助金の交付対象旅費から控除する。

5 補助金の支給は、団体又は個人いずれも当該年度に1回までとする。

(補助金の額)

第4条 補助金を行う旅費の額は、次の各号に掲げる旅費の区分に応じて、下記に定める額の合計額とする。

旅費区分	支給内容
鉄道賃	実費として負担した額とする。ただし、新幹線の利用は100km以上の移動に限る。
車馬賃	実費として負担した額とする。ただし、燃料費を計上する場合は、車輛での移動距離に対して1km当り20円を上限とする。
船賃	費用は2等席の料金を上限とし、実費として負担した額とする。
航空賃	費用はエコノミークラスの料金を上限とし、実費として負担した額とする。

路線バス賃	実費として負担した額とする。
タクシー賃	実費として負担した額とする。ただし、交通機関の状況その他特別の事情を考慮し、その利用に合理的な理由がある場合にのみ旅費として認めるものとする。
駐車場代	実費として負担した額とする。
宿泊費	大会に参加するために必要な日数分とし、1名につき1泊10,000円を上限に実費として負担した額とする。
大会参加費	大会に参加するために必要な金額で、実費として負担した額とする。

2 対外試合等に参加する団体又は個人に対して、次の激励費を支給する。

大会区分	団体	個人
国際大会（国外開催）	50万円	10万円
国際大会（国内開催）	30万円	6万円
全国大会	10万円	2万円
関東大会	5万円	1万円

3 前項に規定する激励費の交付を受けた対外試合等において優秀な成績を取めた場合は、次の報償費を支給する。ただし、入賞は大会要項等に定められた順位までとする。

大会区分	団体	個人
国際大会（3位以上）	30万円	10万円
全国大会（3位以上）	15万円	5万円
入賞	6万円	2万円

（貸切バス等の取扱）

第5条 対外試合等に参加する場合において、団体競技又は団体活動若しくは個人競技又は個人活動であって11名以上の参加が予定されるもので貸切バスを利用する場合は、前条第1項に規程する旅費に代えて、貸切バスの借り上げ費用及び通行料等の貸切バスの運行に係る費用を補助対象経費とする。

2 昭和村庁用バスを利用する場合は、前条第1項に規定する経費のうち、貸切バスの借り上げ費用及び通行料等のバスの運行に係る費用は補助対象外とする。

（交付申請）

第6条 補助金の交付を受けようとする者は、大会参加の前に次に掲げる書類とともに補助金交付申請書（様式第1号）を村長に提出しなければならない。

- （1） 大会の参加登録書、参加通知書、推薦書等補助金の交付対象者が確認できる書類の写し
- （2） 大会要項又はこれに準じる書類

2 大会参加に掛かる経費の補助金の交付を受けようとするときは、前項の書類のほか、旅費の収支計画書を添付しなければならない。

（交付決定）

第7条 村長は、補助金の交付申請について内容を審査し適当と認めるときは、交付を決定する。

（交付請求）

第8条 補助金の交付決定を受けた者は、対外試合等の終了後、次に掲げる書類とともに補助金交付請求書（様式第2号）を村長に提出しなければならない。

（1） 実績報告書

（2） 主催者の発表する大会結果又は報道機関による記事その他の当該大会の結果が確認できる書類

（3） 支出計算書及び領収書等の支出を証明できる書類

（補助金の額の確定）

第9条 村長は、前条の交付請求書が提出された場合、交付すべき補助金の額を確定し、交付対象者に通知するものとする。

（補助金の返還）

第10条 村長は、申請において虚偽の事実が発覚したときは、補助金の全額を返納するよう求めることができる。

（事務の取扱）

第11条 この規則に定める補助金の事務は教育委員会が行う。

（その他）

第12条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

付 則

（施行期日）

この要綱は、公布の日から施行する。

（この要綱の失効）

この要綱は、令和8年3月31日限り、その効力を失う